

あけましておめでとうございます。

日頃より図書フロアをご利用いただきありがとうございます。本年もより良いサービスの充実を目指してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和初のお正月。皆様はどのようにお迎えでしょうか。今年は大変な災害のない穏やかな一年となりますよう、定番ではありますが、「ニッポンのお正月」にふさわしい本をご紹介します。



『しめかざり』
森 須磨子 著
工作舎
2017年



『東京會館おせちと節句料理』
鈴木 直登 著
平凡社
2012年



『かるた』
NHK「美の壺」制作班 編
NHK出版
2008年

1月の展示情報 ※展示情報は変更する場合がございます。

- 2F パープルゾーン** 「劇場・映画の街 千代田」(~1/17)
数多くの劇場や映画館を有する千代田区。政治や経済の中心地としてだけでなく、宝塚や歌舞伎、映画の魅力がたっぷり詰まった、劇場・映画の街としての千代田区をご覧ください。
- 3F ガラスケース** 「内田嘉吉文庫の地理書・航海記」
2020年はマゼランによるマゼラン海峡通過から500年にあたることにちなみ、内田嘉吉文庫所蔵の探検記・航海記、航海図を展示しています。
- 3F グリーンゾーン** 「集めてみた」(~2/14)
特別展にちなみ、「集」をキーワードにさまざまなモノ・コトを「集めてみた」展示です。「あなたが集めているもの」のアンケートも実施。一緒に「集めて」みませんか？
- 3F ブルーゾーン** 「Beauty —美女とは?—」(~4/17)
表現の世界における「美女」。また、歴史上に名を連ねる「美女」。美女は人々の心をどのように動かしていくのか。その魅力に迫り、我々にとって美女という存在は一体何であるか、その真髄に迫ります。

展示 PICK UP ■ 2F パープルゾーン【三角台】 ~2/1(土)

スタッフが選ぶ 年末年始に読みたい本
今年も図書フロアスタッフ一同より、皆さまにお勧めしたい本を集めました。各スタッフの思いがこもった推薦文もぜひご覧ください。

- 『猫と呑み助』 はるやま ひろぶみ 著 山と溪谷社 2017年
- 『安吾巷談』 坂口 安吾 著 三田産業 2018年

LIBRARY INFORMATION ライブラリー・インフォメーション

特別整理期間 (蔵書点検)のお知らせ

1/18(土) 1/19(日) 1/20(月)

18日・19日は、2・3階の図書フロアを部分休館します。20日は、文化財事務室を除き全館休館です。

蔵書点検とは？

書架に並んでいるすべての本のICタグやバーコードを読み取り、あるべき場所に本があるかどうか、行方不明になっている本はないかを確認する作業のことです。

18日・19日の本の返却は、1階エントランスの返却ボックスおよび国会通り側のブックポストをご利用いただけますが、本の返却処理が遅くなることをあらかじめご了承ください。

期間中はご不便をおかけいたしますが、利用者の皆さまに、より迅速で快適なサービスを提供できるよう、今後とも資料の管理に努めてまいります。

From Chiyoda Public Library 【千代田区立図書館からのお知らせ】

千代田図書館企画展示 いまさら聞けない？ 芥川賞・直木賞

日本の代表的な文学賞である芥川賞と直木賞。今回は、芥川龍之介と直木三十五、菊池寛の人物紹介をはじめ、賞制定の経緯や選考にまつわる多数の裏エピソード、選考委員のメンバーなどをパネルで紹介。また、受賞作や受賞作家の作品、文学賞に関する書籍を約200冊展示・貸し出します。2020年1月に決定する第162回の受賞作品予想投票イベントも1月14日(火)まで開催中です。

会期 開催中 2020年2月21日(金) ※2020年1月1(水)~3(金)、1月26日(日)は休館

会場 千代田図書館9階 展示ウォール

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

江戸時代半ばを江中心に、出版・印刷技術の発達によって人々の間に広まったとされる読書文化。本は娯楽として親しまれただけでなく、江戸の人びとの知的好奇心を刺激し、教養を深めるたしなみでもありました。千代田区教育委員会は、平成8年(1996)に齋藤吉之氏が所蔵する書籍資料の寄贈を受けました。このコレクションには、齋藤氏が昭和期に古書店をめぐり歩いて蒐集した、和本や洋装本、洋書が含まれています。今回は、特にバラエティー豊かな和本の数々をもとに、江戸時代の書物や読書文化を紐解きます。

江戸の人びと、本をたしなむ



▲葛飾北斎が描いた絵手本『北斎漫画』海外ではホクサイスケッチと呼ばれています。



▲犬の絵柄が美しい曲亭馬琴作『南総里見八犬伝』

- 展示構成 ■
- 【プロlogue】 齋藤家コレクションとは
 - 【第1章】 花開く江戸の出版文化
 - 【第2章】 江戸をにぎわす書物たち
 - 【第3章】 知を深める書物たち
 - 【エピローグ】 書物の近代化

知を編む 江戸の人びと 江戸時代の書物・蔵書を読み解く

- 日時: 令和2年2月15日(土) 15:00~16:30(14:30開場)
- 講師: 工藤航平氏(東京都公文書館専門員)
- 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 費用: 500円(資料代) ●定員: 180名(申込順)
- 申込締切: 1月31日(金)消印有効
- 申込方法: 往復ハガキに①~④をご記入のうえ、右記宛先までご応募ください。①講座名、②参加者氏名(1枚につき4名まで)、③郵便番号・住所、④電話番号 ※③、④は代表者のみ

令和2年 1/18(土) 3/8(日)

※1月20日(月)、2月17日(月)は休館
●開館時間: 月~木・土10:00~19:00 金10:00~20:00日・祝10:00~17:00
●会場: 日比谷図書文化館1階 特別展示室 ●入場無料

calendar 開館時間: 平日10時~22時 ■ 土曜10時~19時 ■ 日祝10時~17時 ■ 休館日

2020年1月 2020年2月

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4						1
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29

■お問合せ先: 千代田区立日比谷図書文化館 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4
TEL: 施設代表 03-3502-3340 図書総合カウンター 03-3502-3343
URL: https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/

information 部分(図書フロア)休館のお知らせ 2020年1月18日(土)、19日(日)

図書の特別整理を実施するため、2・3階の図書フロア部分を臨時休館します。そのため、図書の貸出・閲覧席の利用などができなくなります。本の返却は1階エントランスおよび国会通り側ブックポストをご利用ください。(一部資料をのぞく) 図書フロア以外の施設は通常どおりご利用いただけます。 ※1月20日(月)は全館休館日です。(文化財施設事務室は除く)

access 〔都営地下鉄〕●三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分
〔東京メトロ〕●丸ノ内線 ●日比谷線「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩3分
●千代田線「霞ヶ関駅」C4出口 徒歩3分 ●JR「新橋駅」徒歩10分
※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

1・2月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

1/10 (金) 芸人とランナー ～猫ひろし、オリンピックへの挑戦～

講師:猫ひろし(芸人・ランナー)

お笑い芸人「猫ひろし」は、なぜマラソンを走るようになったのか。ロンドン大会出場決定から取り消しの真相、リオデジャネイロ大会選手村での衝撃の出来事、そして、42歳で目指す東京2020大会への思い。マラソンというスポーツの魅力やレース観戦のポイント、市民ランナーやこれから走り始めたいという方へのアドバイスも伺います。



- 日時:1月10日(金)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■ 参加費:500円

1/23 (木) 素粒子物理学シリーズ第2弾 素粒子と対称性～宇宙は右利きか左利きか?

講師:三原 智(高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 教授)

プラスとマイナス、右巻き左巻きなど、さまざまな対称性は素粒子の世界でも大切な役割があります。素粒子の「対称性」は究極の対称性でしょうか、対称なように見えるだけでしょうか。本講演では、対称性をもとに宇宙の成り立ちを理解しようとする素粒子物理学の試みについてお話しします。



- 日時:1月23日(木)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■ 参加費:1000円

1/24 (金) 日本の外国人コミュニティからみる多文化社会

講師:室橋 裕和(アジア専門の記者、編集者)

多くの外国人と共に生きる時代を迎えた日本で、お互いが気持ちよく暮らしてゆくために、相手を知り歩み寄る社会が必要になっています。そこで近年、多国籍化が進む新大久保を中心に在日外国人が集住するコミュニティについて、タイで外国人として暮らした経験をもつ講師に実体験を交えてお話しいただきます。



- 日時:1月24日(金)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■ 参加費:1000円

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはホームページにて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

2/3 (月) 世界の音楽2020 遙かなる森の国から～パンフルートの贈り物～

講師:櫻岡 史子(日本ルーマニアパンフルート協会会長)

遙かなる森の国、美しいルーマニアの文化や音楽に触れ、世界最古の管楽器とも言われるパンフルートの歴史や日本との繋がりを知り、その音色に触れ、パンフルートの世界について学びを深める講座です。



- 日時:2月3日(月)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■ 参加費:1000円

2/6 (木) 北方謙三 北方謙三ワールドを語る

講師:北方 謙三(小説家)

1970年に純文学『明るい街へ』で学生小説家としてスタート。その後ハードボイルド小説の旗手として長く活躍され、現在では『チンギス紀』『水滸伝』『楊令伝』『岳飛伝』『三国志』などの歴史小説でも大人気の北方謙三氏を迎え、氏の来た道、広大な北方謙三ワールドについてお話しいただきます。



- 日時:2月6日(木)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■ 参加費:1000円

2/13 (木) 千代田区内ミュージアム連携企画 千代田で学ぶ化石の噺

講師:宮田 真也(城西大学水田記念博物館大石化石ギャラリー学芸員)

化石は過去の生物相や進化、さらには古環境についても物語ってくれる地球からの手紙といってもよいでしょう。この講演では「化石とはなにか?」から始まり、身近な化石や最近の研究についてまでお話しします。



「カワムツ(Nipponocypris temminckii)透明骨格標本」(宮田・敏本,2018)

- 日時:2月13日(木)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名
- 参加費:1000円(千代田区民 500円)

2/18 (火) 上廣・日比谷ライブラリーレクチャー 私の修業時代 情報とポエジーをめぐる旅

講師:西垣 通(情報学者・東京大学名誉教授)

道を極める人はどのような修業をするのか。各界の著名人が、志を立て自らを磨いてきた道筋を語る講座、私の修業時代。今回は、半世紀近くにわたって、理系の知と文系の知を横断されながら、ネット社会やAI(人工知能)の未来を展望してこられた情報学者、西垣通氏にとっての修業時代とはどのようなものだったのかをお話しいたします。



- (主催:公益財団法人上廣倫理財団、共催:日比谷図書文化館)
- 日時:2月18日(火)19:00～20:30(18:30開場)
 - 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 - 定員:200名 ■ 参加費:500円(千代田区民・学生無料)
- ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

2/26 (水) 税は痛みか?それとも連帯の礎か? ～今日より素晴らしい明日をつくるために～

講師:井手 英策(慶應義塾大学経済学部 教授)

人口減、少子高齢化、経済の停滞が直撃する21世紀の日本—まさに「縮減の世紀」にあって、私たちはどのような社会の見取り図を描けばよいのだろうか?財政哲学の転換、税と給付の再設計、そして地域のつながりを再生するための具体的方法を縦横無尽に語りながら、参加者とともに新たな日本社会を構想していきたい。



- 日時:2月26日(水)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■ 参加費:1000円

2/27 (木) 江戸歴史講座 第64回 江戸の大相撲を楽しむ

講師:土屋 喜敬(相撲博物館学芸員)

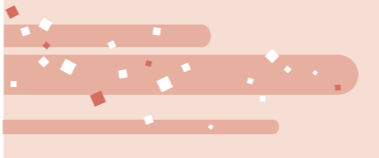
日本を代表する伝統文化のひとつとして注目を集めている大相撲が成立し、庶民の娯楽として親しまれるようになったのは江戸時代のことです。今回はおもに錦絵をご覧いただきながら、活躍する力士たちの姿や相撲場の様相を探っていきます。江戸時代の観客になった気分でお楽しみいただければ幸いです。



「東都両国回向院境内相撲の図」歌川広重(初代)

- 日時:2月27日(木)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■ 参加費:1000円(千代田区民 500円)

新年あけましておめでとうございます。



日比谷図書文化館では、新年になると1階に屏風や松のお正月飾りで皆さまをお迎えしています。今年は、更に日比谷図書文化館オリジナルのおみくじをご用意しました。「おみくじ」は、比叡山延暦寺の中興の祖として知られる元三大師(がんざんだいし)が人間の運勢、吉凶を漢詩百首で読んだものが始まり

- 期間:2020年1月4日(土)～11日(土)
 - 場所:1階ホール(受付カウンター横)
 - 無料
- ※おみくじは館内に捨てずにお持ち帰りください。

2/28 (金) 現代技術でよみがえる伝統木造建築

講師:木内 修(木内修建築設計事務所代表)

穴八幡宮隨神門や尾張大国霊神社齋追殿等の新築工事の事例を紹介しながら、建築基準法からも外された存在だった日本の伝統木造建築技術を科学的に解明し、現代技術として再構築した上で新たな伝統建築を創造する手法と未来への継承を考える。



尾張大国霊神社齋追殿内観正面(写真撮影:新建築社写真部)

- (企画・協力 NPO法人建築から社会に貢献する会)
- 日時:2月28日(金)19:00～21:00(18:30開場)
 - 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 - 定員:200名 ■ 参加費:1000円

◆古文書塾てらこや1月期 特別講座開講◆

古文書専門塾として、初心者から経験者まで楽しみながら学んで頂ける「古文書塾てらこや」。多種多様な講座を開講します。

	講座名	曜日・時間	開講日
特別講座 90分	大久保利通の手紙を読む	(火)19:00～	1/7
	商家文書を読みとく—三井の子弟教育	(水)19:00～	1/8
	江戸を楽しむ—江戸の寺社あれこれ	(木)18:30～	1/9
	花街(かがい)のおもてなし—七軒、ほんなり文化の伝承	(木)19:00～	1/16
	江戸・明治の書状を読む—形式と内容、一步から	(金)18:30～	1/10
	絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(入門編)	(土)10:30～	1/11

- 期間:1月7日(火)から順次開講
- 会場:4階 セミナールーム(会議室) ■ 定員:各23名(事前申込順)
- 参加費:13,650円(全5回/各回90分/3ヵ月分。別途資料代500円) ※てらこやに関する資料をご希望の方には無料で送付いたします。
- 資料請求・講座のお問い合わせ:電話(03-3502-3340) 日比谷図書文化館 古文書塾てらこや担当迄

(予告) 特別研究室 企画展示

蔵書と模型で見る日本統治期台湾の建築

- 期間:1月21日(火)～3月29日(日)
- 場所:4階 特別研究室
- 入場無料
- 協力:今村 仁美(アトリエイマージュ)

台湾には日本統治期に建造され、今もなお活用され続けている建築物が多くあります。今回の企画展示では台湾総督府民政長官・台湾総督を務めた内田嘉吉の旧蔵書の中から、現在も使い続けられている建築物の資料を紹介するとともに、建築模型作家・今村仁美氏制作による日本統治期台湾の建築物の模型を展示します。長年にわたり人々に親しまれてきた建築物の魅力に平面(蔵書)と立体(模型)双方から触れてください。

尚この企画展示の関連講座を3月7日(土)に開催します。詳細は決まり次第HP等にてお知らせします。

台湾総督府 建築模型制作:今村仁美(アトリエイマージュ) 撮影:森賢一(Graphes)



といわれています。また「くじ」という言葉が『日本書紀』にも出てくるのが知られていて、古来からくじを引いて運勢や物事を決めていたようです。今回のおみくじには、運勢の他に日比谷図書文化館と千代田図書館のラッキーゾーンが書かれています。是非、おみくじを引いて新しい発見をしてみてください。